

わたしがつくる みんなでつくる 住みよいまち むつ

# むつ社協 だより No 75

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。

●発行●

社会福祉法 社会福祉協議会  
むつ市社会福祉協議会  
〒035-0073 むつ市中央一丁目8番1号  
Tel (0175) 33-3023  
fax (0175) 23-5093  
川内支所 Tel (0175) 42-2002  
大畑支所 Tel (0175) 34-3537  
脇野沢支所 Tel (0175) 44-3550

●発行日●

平成28年 7月25日号



社会福祉協議会では、地域からの孤立感の解消と地域住民相互の親睦を目的に「ほのぼの交流会」を実施しております。



# 会長就任挨拶

法社会福祉 社会福祉 社会福祉  
むつ市社会福祉協議会

会長 遠藤 雪夫

この度の任期満了による役員改選に伴い、理事皆様の御推挙と御賛同を賜り、むつ市社会福祉協議会会長を拝命いたしました。

もとより微力ではございますが、これまでの経験を踏まえ、むつ市社会福祉協議会の円滑な運営を通して地域福祉の充実と発展のために、その職責を全うするよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年度から生活困窮者自立支援法、改正介護保険法、そして、子ども・子育て関連三法に基づく子ども・子育て支援制度の本格実施となりました。

加えて、本年三月には社会福祉法人の組織体制の強化、事業運営の透明性の向上、地域における公益的活動の推進など法人制度改革に向けて、社会福祉法の改正が行われたところでもあります。

この中であって、本会では地域福祉活動を確実かつ効果的に実施するため、法人運営基盤を強化するとともに、福祉サービスの質の向上及び透明性を図ることとし、第二次地域福祉活動計画に掲げている各目標に向け、諸事業に積極的に取り組んでいるところであります。

家族形態の変化による地域のネットワークの構築と協働が求められるなど、本会を取り巻く環境は、大きく変化してきており、会長という重責を痛感しているところであります。

が、役職員一丸となって「市民主体及び市民参画を基本とした福祉コミュニティづくり」に取り組んで行く所存であります。結びに、市民皆様の御理解と御協力を切にお願い申し上げます、会長就任の挨拶とさせていただきます。

## 平成28年度事業計画

### 【重点目標】

#### 1 法人運営基盤の強化

- (1) 会員加入の促進と会費の増収
- (2) 社協だよりの発行・ホームページの運営
- (3) 第56回むつ市社会福祉大会の開催
- (4) 社会福祉法人制度改革に対応した法人組織の強化

#### 2 地域福祉事業の充実

- (1) ほのぼの交流会の開催
- (2) ほのぼの交流協力員訪問活動事業
- (3) ほのぼの料理教室の開催
- (4) ふれあい交流会の開催
- (5) 溪流を散策しながら紅葉を楽しむ会の開催
- (6) 第36回ほのぼのつどいの開催
- (7) 第47回むつ市福祉作文コンクール
- (8) ふれあいクリスマス会の開催
- (9) ふれあい福祉展・ふれあい福祉バザーの開催
- (10) 巡回入浴事業
- (11) 地域福祉懇談会の開催
- (12) 高齢者ふれあい事業
- (13) ふれあい広場事業
- (14) ふれあい昼食会の開催
- (15) いきいき交流会開催事業
- (16) ふれあいバスの旅開催事業
- (17) 世代間ふれあい交流会開催事業

- (18) 茶話やかサロン開催事業
- (19) 高校生ワークショップ開催事業
- (20) 元気家族リフレッシュサロン開催事業
- (21) 日常生活自立支援事業
- (22) 各種貸付事業の有効利用
- (23) むつ市福祉安心電話サービス事業
- (24) むつ市外出支援サービス事業
- (25) 福祉ニーズの発掘と新規事業の開発
- (26) 助成事業

#### 3 ボランティア活動の振興

- (1) むつ市ボランティア・市民活動センターの充実
- (2) 災害時被災者支援ネットワークの構築
- (3) 善意銀行の運営
- (4) 児童・生徒等の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加促進

#### 4 相談事業の推進

- (1) 心配ごと相談所及び結婚相談所の効果的かつ効果的な運営
- (2) 生活困窮者自立相談支援事業

#### 5 福祉サービス利用援助事業の充実

- (1) 苦情解決第三者委員の設置
- (2) 成年後見監督業務

#### 6 共同募金運動への協力

- (1) 共同募金助成金事業
- (2) NHK歳末たすけあい義援金助成事業

#### 7 介護事業の充実

- (1) 訪問介護事業・居宅介護支援事業等
- (2) 介護事業職員の資質向上
- (3) 事業の積極的なPR

#### 8 保育事業の経営

- (1) 年間活動事業推進
- (2) 世代間交流事業
- (3) 異年齢児交流事業
- (4) 経営基盤の強化

# 平成28年度社会福祉事業収支予算書

資金収支予算書 (自)平成28年4月1日 (至)平成29年3月31日

(単位：千円)

借方		貸方	
勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
人件費支出	170,904	会費収入	8,176
事業費支出	33,276	分担金収入	1,279
事務費支出	11,457	寄付金収入	1,610
貸付事業支出	5,500	経常経費補助金収入	76,730
助成金支出	1,218	受託金収入	31,806
負担金支出	637	貸付事業収入	5,500
基金積立資産支出	18,000	事業収入	1,786
積立資産支出	1,322	介護保険事業収入	45,326
予備費	1,529	介護保険外収入	1,128
当期末支払資金残高	17,767	保育事業収入	51,625
		障害福祉サービス等事業収入	1,464
		受取利息配当金収入	15
		その他の収入	116
		基金積立資産取崩収入	18,000
		積立資産取崩収入	2,500
		前期末支払資金残高	14,549
合計	261,610	合計	261,610

## 各事業への参加案内

### ◎高校生ワークキャンプ

高校生を対象に、1泊2日で福祉施設(高齢・障害者施設)において、体験学習を行います。

● 日 時 9月17日(土)、18日(日)

集合午前9時、解散午後3時

● 参加対象 市内にお住まいの高校生20名(定員になり次第締め切ります)

● 開催内容 福祉施設のスケジュールに従い入浴介助、食事介助、話し相手等の介護等を体験する

● 訪問施設 特別養護老人ホーム桜木園、障害福祉施設ハートランドさくら

● 宿泊先 むつ市下北自然の家

● 参加費 千円(食事代、保険料等)

● 参加申込 市内高等学校の在学は学校を通じて申込。市外高等学校の在学は左記へ電話でお申込ください

● 参加締切 8月26日(金)

● その他 9月8日(木)午後5時から事前学習会を開催します

● 申込先 地域福祉課 若佐

● 電話 33-3023

### ◎茶話やかサロン

むつ地区全7か所の公共施設等を利用して「茶話やかサロン」と題し、高齢者を対象とした事業を実施しております。

サロンでは、地域住民が、「気軽に」「楽しく」お茶を飲みながら集い、仲間づくりの輪を広げ、ことを目的に健康体操や各レクリエーション活動を楽しんでおり、参加の皆様から御好評をいただいております。

御近所の方々とお誘い合わせの上、お気軽に御参加ください。

● 各会場とも月に1度の開催

● 会場 むつ市中央公民館会場

● 海老川コミュニティセンター会場

● 老人憩の家長寿荘会場

● 緑ヶ丘コミュニティセンター会場

● 山田町集会所会場

● 柳町神明宮社務所会場

● 大曲コミュニティセンター会場

● 柳町神明宮社務所会場

● 大曲コミュニティセンター会場

● 参加申込 申込は必要ありませんので、御都合のよい会場に御参加ください。

● 問合せ先 地域福祉課 若佐

● 電話 33-3023



◎ほのぼの交流会

ひとり暮らし高齢者の方々を参加対象に、昼食を囲み参加者相互の交流及び健康維持を目的に市内5会場にて開催いたします。

- 参加対象 市内にお住まいの65歳以上のひとり暮らしの方及び日中独居の方
- 開催時間 午前11時から午後2時まで
- 開催内容 いきいき健康教室、昼食、お楽しみゲーム
- 参加費 いずれの会場も無料
- 参加申込 御希望の会場を本会本支所へ電話にてお申込ください
- その他 御不明なところがございますたら、お気軽にお問い合わせください

①川内会場

- 日時 9月6日(火)午前11時
- 会場 ふれあい温泉川内
- 申込締切 8月23日(火)
- 申込先 川内支所 川瀬
- 電話 42-2002

②脇野沢会場

- 日時 9月14日(水)午前11時
- 会場 脇野沢地域交流センター
- 申込締切 8月31日(水)
- 申込先 脇野沢支所 鈴木
- 電話 44-3550

③田名部会場

- 日時 9月16日(金)午前11時
- 会場 老人憩の家「禄寿荘」
- 申込締切 9月2日(金)
- 申込先 地域福祉課 美馬
- 電話 33-3023

④大畑会場

- 日時 9月21日(水)午前11時
- 会場 ふれあいかん
- 申込締切 9月7日(水)
- 申込先 大畑支所 中寫
- 電話 34-3537

⑤大湊会場

- 日時 9月23日(金)午前11時
- 会場 老人憩の家「福寿荘」
- 申込締切 9月9日(金)
- 申込先 地域福祉課 美馬
- 電話 33-3023

◎ほほえみのつどい

障害児・者、ボランティアの方々を対象に、レクリエーションを通じて参加者相互の交流及び親睦を深めることを目的に開催いたします。

- 日時 10月2日(日)午前10時30分から午後1時まで
- 会場 早掛レイクサイドヒルキャンプ場
- 参加対象 障害児・者及び家族、一般のボランティア希望の方

- 内容 レクリエーション、バーベキュー
- 送迎 送迎バスを配車いたしますので、申込の際に乗車場所をお知らせください

- 参加費 500円
- 参加申込 左記へ電話でお申込ください
- 申込締切 9月20日(火)
- 申込先 地域福祉課 美馬
- 電話 33-3023





◎**渓流を散策しながら  
紅葉を楽しむ会**

市内の景勝地である薬研渓流を散策し、健康増進を目的に開催しますので、皆様お誘い合わせの上、御参加ください。

- 日 時 10月21日(金)午前10時
- 集合場所 ホテルニュー薬研
- 参加対象 市内にお住まいの65歳以上の方
- 内 容 大畑町薬研渓流を散策しながら、食事と温泉入浴を楽しみます
- 参加費 500円
- 送 迎 送迎バスを配車いたしますので、申込の際に乗車場所をお知らせください
- 参加申込 左記へ電話でお申込ください
- 申込締切 10月7日(金)
- 申込先 地域福祉課 美馬  
電話 33-33023

◎**社会福祉大会**

多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々への顕彰、記念講演、また、福祉団体による作品展示即売を行います。

- 日 時 11月9日(水)午後1時
- 会 場 むつグランドホテル
- 参加対象 市内にお住まいの方
- 参加費 無 料
- 参加申込 申込は必要ありません



◎**巡回入浴事業**

大畑地区の高齢者を対象に、4ブロックに分けて、福祉バスでの送迎を無料で行い大畑奥薬研の老人福祉センターでの温泉入浴を楽しんでいただきます。

また、入浴前には参加者の血圧測定及び看護師が健康相談に応じております。事業への問い合わせや利用申込みは左記へ御連絡をお願いします。



- 入浴施設 むつ市老人福祉センター
- 利用対象 大畑地区の満70歳以上の方
- 実施日時 毎週月曜日 (第五月曜日を除く)
- バス運行 登録時にお知らせいたします
- 入浴料 75歳未満の方 230円  
75歳以上の方 110円

※ 75歳以上の方は「高齢者入浴証明書」の申請が必要となりますので、保険証等の身分証明書を御持参の上、老人福祉センターで申請ください

- 問合せ先 大畑支所 中馬  
電話 34-33537

# 平成27年度 事業実績報告

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、市民の皆様からいただいた会費や寄付金・共同募金配分金などで関係機関や団体・ボランティアの方々、そして多くの皆様の御参加と御協力を得ながら次の各事業を実施いたしました。

## 1 会務運営

- (1) 正副会長会議 (開催 16回)
- (2) 理事会 (開催 4回)
- (3) 評議員会 (開催 4回)
- (4) 各部会・委員会 (開催 9回)
- (5) 監査会 (開催 4回)

## 2 福祉活動の啓発

- (1) 社会福祉大会 (出席 350名)
- (2) 広報誌発行 (発行 5回)
- (3) ホームページの運営 (通年)

## 3 在宅福祉サービス

- (1) 福祉安心電話サービス事業 (設置 2台)
- (2) 外出支援サービス事業 (利用 392回)
- (3) 住宅用火災警報器設置事業 (設置 22器)

## 4 悩みごとの相談や福祉サービス利用の支援

- (1) 心配ごと相談 (相談 14件)
- (2) 結婚相談 (相談 25件)
- (3) 生活福祉資金貸付事業 (貸付 4件)

## 5 地域福祉の推進

- (4) 助け合い資金貸付事業 (貸付 82件)
- (5) 高額療養費貸付事業 (貸付 10件)
- (6) 成年後見制度監督業務 (実施 4件)
- (7) 日常生活自立支援事業 (利用 16件)
- (8) 生活困窮者自立相談支援事業 (相談 26件)

- (1) ほほえみのつどい事業 (参加 140名)
- (2) 福祉作文コンクール事業 (応募 167点)
- (3) ふれあい福祉展事業 (来場者 600名)
- (4) ふれあい福祉バザール事業 (開催 11回)
- (5) 茶話やかサロン開催事業 (参加 520名)
- (6) ほのぼのコミュニティ21推進事業 (協力員 516名)

- ・地域福祉懇談会 (開催 8回)
- ・ほのぼの昼食会 (開催 28回)
- ・ほのぼの交流協力員研修会 (参加 151名)
- ・ほのぼの料理教室 (参加 62名)
- ・ふれあいクリスマス会 (参加 230名)
- ・ふれあい交流会 (参加 29名)
- ・世代間ふれあい交流 (参加 37名)
- ・高校生ワークキャンプ事業 (参加 4名)
- ・溪流を散策しながら紅葉を楽しむ会 (参加 70名)
- (7) 地域福祉活動支援助成事業 (助成 26団体)
- (8) 祭りを通じた社会参加支援事業 (参加 20名)
- (9) 高齢者ふれあい事業 (参加 38名)
- (10) ふれあい広場事業 (参加 72名)

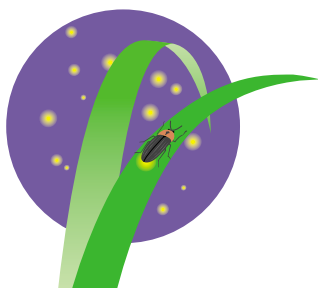
## 6 介護サービス

- (11) 巡回入浴事業 (利用 633名)
- (12) いきいき交流会事業 (参加 477名)
- (13) ふれあい昼食会 (参加 112名)
- (14) 近川保育園の運営 (利用 42名)

## 7 ボランティア・市民活動センター

- (1) 居宅介護支援事業 (利用 825件)
- (2) 訪問介護事業 (利用 600件)
- (3) 障害者福祉サービス (利用 44件)
- (4) 軽度生活援助ホームヘルプサービス事業 (利用 73件)
- (5) 介護保険外サービス事業 (利用 139件)
- (6) 介護予防支援事業 (利用 137件)
- (7) 福祉用具貸与事業 (利用 67件)

- (1) ボランティア受付 (受付 22件)
- (2) ボランティア保険加入受付 (受付 1106名)
- (3) 除雪ボランティア事業 (派遣 14件)
- (4) 善意銀行業務 (出席 19名)
- ・無縁仏供養会事業 (貸出 69台)
- ・車椅子貸出事業



# 平成27年度社会福祉事業収支決算書

## 1 資金収支計算書 (自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位：円)

借方		貸方	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
人件費支出	179,192,402	会費収入	7,810,500
事業費支出	25,735,036	分担金収入	1,484,200
事務費支出	8,725,132	寄付金収入	4,699,062
貸付事業支出	3,206,000	経常経費補助金収入	76,603,000
助成金支出	1,188,000	受託金収入	32,780,840
負担金支出	631,900	貸付事業収入	3,012,000
返還金支出	2,112,068	事業収入	1,395,972
その他の支出	5,578	介護保険事業収入	49,626,518
流動資産評価損等による資金減少額	65,000	介護保険外収入	2,058,500
固定資産取得支出	2,631,168	保育事業収入	49,636,220
基金積立資産支出	21,000,000	障害福祉サービス等事業収入	1,597,360
積立資産支出	1,341,173	受取利息配当金収入	22,693
その他の活動による支出	49,740	その他の収入	1,631,387
当期末支払資金残高	34,663,752	施設整備等補助金収入	2,000,000
		基金積立資産取崩収入	18,000,000
		積立資産取崩収入	145,158
		前期末支払資金残高	28,043,539
合計	280,546,949	合計	280,546,949

## 2 事業活動計算書 (自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

(単位：円)

借方		貸方	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
人件費	179,887,224	会費収益	7,810,500
事業費	25,735,036	分担金収益	1,484,200
事務費	8,725,132	寄付金収益	4,699,062
助成金費用	1,188,000	経常経費補助金収益	76,603,000
負担金費用	631,900	受託金収益	32,780,840
基金組入額	3,000,000	事業収益	1,395,972
減価償却費	1,734,857	介護保険事業収益	49,626,518
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 166,999	介護保険外収益	2,058,500
徴収不能額	65,000	保育事業収益	49,636,220
徴収不能引当金繰入	3,343,300	障害福祉サービス等事業収益	1,597,360
その他のサービス活動外費用	5,578	その他の収益	1,621,387
固定資産売却損・処分損	273,001	受取利息配当金収益	22,693
国庫補助金等特別積立金積立額	2,000,000	その他のサービス活動外収益	10,000
返還金費用	2,112,068	施設整備等補助金収益	2,000,000
その他の特別損失	49,740	その他の特別収益	3,214,200
その他の積立金積立額	1,513	前期繰越活動増減差額	40,412,155
次期繰越活動増減差額	46,387,257		
合計	274,972,607	合計	274,972,607

## 3 貸借対照表 平成28年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	科目	金額		
資産	流動資産	41,059,955	負債の部	流動負債	18,350,236
	現金預金	32,615,157		事業未払金	7,343,635
	事業未収金	11,182,168		預り金	44,994
	前払金	605,930		職員預り金	2,257,174
	徴収不能引当金	△ 3,343,300		前受金	93,700
				賞与引当金	8,610,733
	固定資産	92,442,545		固定負債	12,479,243
	基本財産	13,559,655		退職給付引当金	12,479,243
	その他の固定資産	78,882,890		負債の部合計	30,829,479
				純資産の部	基金
部の			国庫補助金等特別積立金	1,833,001	
			その他の積立金	20,052,763	
			次期繰越活動増減差額	46,387,257	
			純資産の部合計	102,673,021	
	資産の部合計	133,502,500	負債及び純資産の部合計	133,502,500	



# 各事業の利用案内

## ◎日常生活自立支援事業

### ◇日常生活自立支援事業とは？

日常生活自立支援事業では、高齢や障害（知的障害、精神障害）により日常生活の判断能力に不安があり、在宅で生活している方または在宅で生活する予定の方に、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理、年金証書などの大切な書類の預かりなどのお手伝いをしています。

### ◇どういう人がつかえるの？

次の条件のどちらにも当てはまる方です。  
① 判断能力が不十分な方（認知高齢者、知的障害者、精神障害者等であつて、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方）  
② 本事業の契約の内容について判断し得る能力を有していると認められる方

### ◇どんなことをしてくれるの？

- ① 福祉サービスの利用援助
- ② 日常的金銭管理サービス
- ③ 書類等預かりサービス

### ◇サービス利用までの流れは？

- ① 相談 お近くの社会福祉協議会本支所へ御相談ください。相談は無料です。

- ② 訪問 本会の専門員が訪問して、利用者の困りごとについて伺います。

- ③ 支援計画策定・契約 利用者の意向を確認しながら、支援計画を立てて、その計画でよろしければ契約をします。

- ④ 生活支援員によるサービス開始 支援計画に基づいて、生活支援員のお手伝い（支援）が始まります。

### ●問合せ先

生活支援課	電話	33-33023
川内支所	電話	42-2002
大畑支所	電話	34-3537
脇野沢支所	電話	44-3550

## ◎生活福祉資金の貸付け

### ◇生活福祉資金とは？

低所得者、障害者及び高齢者世帯を対象として、資金の貸付けとそれに伴う必要な相談支援を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長を促進するとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、その世帯が安定した生活を継続して営めるように支援する貸付制度です。

### ◇貸付の対象世帯

次のいずれかに該当し、他からの資金の

借入れが困難な場合で、審査の結果、償還が可能で世帯の自立が見込める世帯です。また、障害者世帯、高齢者世帯については、借受ける資金がその世帯の障害者・高齢者のために利用される場合に適用されます。

### ●低所得世帯

資金の貸付けに併せて必要な援助及び指導を受けることにより、自立できると認められる世帯です。収入の目安として世帯の年間所得が、一定基準以下、概ね市民税非課税程度となります。

### ●障害者世帯

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯です。

### ●高齢者世帯

65歳以上の高齢者が属する低所得世帯です。

### ◇貸付の種類

#### ●総合支援資金

失業者等に対して、生活再建に向けた継続的な相談支援（就労支援・家計指導等）生活費等を貸付け、自立生活を促進するための貸付資金です。

#### ●福祉資金

低所得世帯等に対して、資金貸付と必要な相談・支援を行うことにより、経済的な自立、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的にした貸付資金です。



●教育支援資金

低所得世帯に対して、学校教育法に規定する高校、短大、大学、又は高等専門学校に就学するために必要な経費を対象とした貸付資金です。

●不動産担保型生活資金

低所得の高齢者世帯が一定の居住用不動産を担保として生活資金を借受け、住み慣れた家での生活を送ることを目的にした貸付資金です。

※ 生活福祉資金貸付制度の利用については、他からの資金の借り入れが困難な場合に相談が可能です。教育に関する貸付は、生活福祉資金(教育支援資金)以外に、次の制度もありますので参考としてください。

- 母子寡婦福祉資金
- 日本学生支援機構
- 株式会社日本政策金融公庫
- 青森県育英奨学金

原則として連帯保証人が必要で、相談・申込みから返済が完了するまで、お住まいの地域を担当する民生委員が相談支援に当たります。なお、貸付決定までには審査がありますので日数を要します。

●問合せ先

- 生活支援課 電話 33-3023
- 川内支所 電話 42-2002
- 大畑支所 電話 34-3537
- 脇野沢支所 電話 44-3550

◎外出支援サービス事業

～外出することがお困りの方へ～

下肢が不自由等の理由で外出が困難な方へのサービスの提供を行います

●対象者

高齢者及び身体障害者など下肢が不自由な在宅の方で、車椅子又はストレッチャを利用しなければ移動することが困難な方(原則要介護3以上又は身体障害者手帳の障害等級が下肢・体幹2級以上)

●内容

福祉輸送車両(車椅子またはストレッチャ対応)により送迎します。



●利用までの流れ

- ①事前に会員登録を行います。(会員登録料1,230円)
- ②事前に利用券を購入してください。
- ③利用する日時を御予約ください。

●利用料

走行距離	利用料
3kmまで	600円
5kmまで	900円
10kmまで	1,200円
15kmまで	1,400円
20kmまで	1,600円
25kmまで	1,800円
30kmまで	2,000円
35kmまで	2,200円
40kmまで	2,400円
45kmまで	2,600円
50kmまで	2,800円
50kmを超える場合	10kmにつき700円

●登録・利用券販売

市役所介護福祉課・各庁舎市民生活課

●予約先

- 外出支援サービス直通
- むつ地区 電話 22-1413
- 川内地区 電話 42-2002
- 大畑地区 電話 34-3537
- 脇野沢地区 電話 44-3550

## 第46回 福祉作文コンクール

むつ市社会福祉協議会では、2月28日(日)むつ市中央公民館において、「第46回むつ市福祉作文コンクール」表彰式を行い、入賞児童及び生徒へ表彰状と記念品を授与しました。

このコンクールは、本会における「子ども頃から福祉にふれられる環境づくり」への取り組みの一環として、日々の生活での福祉体験や、ボランティア活動等を通して得た思いなどを作文で表現することを通じ、次代を担う子ども達の「福祉の心」を育むことを目的に毎年開催しているものです。

今回は、小学生56点、中学生11点と合わせて167点もの応募があり、下北国語教育研究会の室館会長様他5名の先生方による審査を経て、最優秀賞5作品、優秀賞4作品、佳作11作品の計20作品が入賞となりました。

表彰式では、最優秀賞に選ばれた児童・生徒による作品の朗読も行われ、子ども達の福祉に対する素直な思いが綴られた内容と、その表現力の豊かさに会場から盛大な拍手が送られました。

また、一般社団法人公済会様から、入賞者へ記念品として楯が贈られました。



### ○最優秀賞の部 5作品

「祖父の手から伝わったこと」

大湊小学校 5年 石ヶ守 美玲

「思いやりのあふれる町に」

大畑中学校 1年 坪 一希

「優しさ」

むつ中学校 2年 井上 遙水

「悲しみから未来へ」

大畑中学校 2年 田村 凜生

「特別な日」

むつ中学校 3年 鳴海 綾花

### ○優秀賞の部 4作品

「おじいちゃんから学んだこと」

大湊小学校 6年 石ヶ守 未来

「福祉の心をもって」

むつ中学校 1年 入江 奏音

「私にできること」

むつ中学校 3年 川下 夢歩

「変わっても私の祖母」

むつ中学校 3年 東田 桃果

### ○佳作の部 11作品

「わたしの学校生活」

第三田名部小学校 3年 浜村 星奈

「ありがとう ありがとう」

第三田名部小学校 4年 蛭名 羽琉

「人と違っていてスバラシイ」

苦生小学校 6年 中嶋 雛乃

「大切なもの」

第二田名部小学校 6年 二本柳 夏穂

「祖父の病気で知った事」

第二田名部小学校 6年 竹林 茉那

「高齢化社会の今、できること」

むつ中学校 1年 平内 歩来

「思いやり」

大畑中学校 1年 鈴木 菜々

「思いやり、いたわり合いの心」

大畑中学校 2年 國田 萌

「本当にするべき事」

大畑中学校 2年 高橋 のあ

「事実を受け入れた先に」

むつ中学校 3年 小笠原 花月

「支える」

むつ中学校 3年 武田 亜幸

## 講評

「思い」は見えないけれど、

「思いやり」は……

下北国語教育研究会会長 室 舘 幸 一

思いやり、助け合い、いたわり合いなど、福祉の心を子どもたちの中にはぐくんできていこうと始められた「むつ市福祉作文コンクール」及び下北郡福祉作文コンクール」開催に当たって、今年度も小・中学校合せて一六七点の作品が寄せられました。御協力いただきました学校関係者に対しまして心より感謝申し上げます。合せて主催者であります社会福祉法人むつ市社会福祉協議会並びにむつ下北地域社会福祉協議会の青少年健全育成に係る御尽力に対しまして深く敬意を表します。これまでの取り組みが実を結び、地域の福祉活動に対する理解がさらに促進され、その取り組みがより一層充実していくことを切に願っております。

さて、「『こころ』は見えないけれど、『こころづかい』は見える、『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える」という広告が、あの「三・一一」震災後のテレビで繰り返し流れておりました。あれは、詩人である宮澤章二さんの「行為の意味」という詩をアレンジしたものでした。その結びは、次のようになっています。

あたたかい心が あたたかい行為となり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

〈心〉も 〈思い〉も 初めて美しく生きる

ーそれは 人が人として生きることだ

このたび応募いただいた児童生徒一人ひとりの作品を読んで心に浮かんできた言葉

が、まさにこの詩の言葉でした。

困っている人を見たら助けてあげるといふ思いやりの心は誰もが胸の中に持っていることではあります。しかしながら、それを実際の行為に現そうとする時、恥じらいや戸惑いなど、様々な心の壁が邪魔をして素直に表現できないことがあります。そのような心の葛藤に打ち勝ち、人としてあたたかい行為、やさしい行為に現していくという体験を通して、いつかは自分も社会を支える一員としてがんばっていくこうとする姿が、それぞれの作品の中にしっかりと描かれておりました。

心の中の思いがどんなに深くても、それを「思いやり」という具体的な行為に現していかないかぎり、誰にもわかってもらえないし、伝わってはいきません。このことの大切さを子ども達に気付かせ考えさせていったのは、やはり子ども達の家族であり、その家族を支えるために必死に働く医療や福祉に携わっている大人の後ろ姿でした。

認知症や寝たきり状態となった曾祖父や祖母を精一杯の介護で支え続ける家族、祖母の死に直面し、あらためて互いの絆を深め合う家族、障害を抱える子どもとともに未来の希望を見出そうと努力を続ける家族の姿等々……。子ども達はそれぞれの家族の一員として私達大人の行為を見つめ、その意味をよく考え、そこから自らの生き方をしっかりと学んでいるということがよくわかりました。

「悲しみから未来へ」というタイトルが物語るように、たとえ家族の死という悲しみに直面しても、子ども達はやがてそれを乗り越え、そこから新たな夢や志を見出し、未来に向かつて前向きに歩み始めることができるの

です。さらには、肢体不自由な体となり車椅子での学校成生活を送っている子ども達もいます。しかしながら、その子ども達も胸いっぱい夢や希望を持ち、明日に向かって毎日楽しく学習しているのです。ある子は、「ありがとう、ありがとう」というタイトルで、自分を支えてくれている周囲の大人や友達に対する感謝の気持ちを原稿用紙いっぱい綴っています。このような作品に出会うと、生きる勇気と未来に対する明るい希望が湧いてきます。むつ・下北の未来は、きっとこの子ども達が支え守ってくれると明るい気持ち広がっていきます。「ありがとう」と子ども達に感謝しなくてはならないのは、むしろ、私達大人の方なのだと思ってしまう。

少子化、過疎化、高齢化等がさらにすすむ未来の地域社会においては、社会や産業の構造の変化は、ますます予測困難となつていきます。だからといって、これまでのようにその社会の変化に対応できる能力を身につけさせなければならぬという受け身的な考えではなく、逆に、これからの子ども達は新しい社会構造を創造する、そのための「変化をつくり出す」能力を身につけた主体的な存在として育まれていかなければなりません。このような子ども達の可能性を証明するエビデンスが、作品集には収められています。やがて彼らが大人になった時、地域の福祉をめぐる問題も一つずつ着実に解決されていくものと確信しています。

結びになりますが、未来の社会を担う子ども達が自らの夢や目標に向かってより一層たくましく成長していくことを願い講評いたします。



# 役員紹介

役員は、住民代表、福祉専門機関代表、関連機関・団体などの分野から組織されます。

任	〃	〃	監	理	常	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理	副	会				
期	〃	〃	事	事	務	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	事	会	長				
平	平		笹	中	二	芳	下	和	本	大	石	新	板	船	安	折	坪	工	渡	遠
成	成		沼	村	本	賀	山	田	間	芦	倉	谷	井	木	田	館		藤	邊	藤
30	28		正	皖		益	榮	千	清	正	隆	敏	祥		二	三				雪
年	年		悦	一	孝	保	雄	子	子	重	司	幸	男	夫	導	博	子	昇	勲	夫
5	6																			
月	月																			
31	1																			
日	日																			
ま	か																			
だ	ら																			
い	い																			
ま	ま																			
で	ら																			

## むつ市社会福祉協議会会員への加入に御協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域の皆様に支えられた民間の福祉団体で、会員会費は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動に御理解いただき、ひとりでも多くの皆様の会員加入について御協力をお願いいたします。

### ◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年 会 費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

## 福祉への心温かい、御寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。

- 清澤寺除夜鐘の会 様 ..... 22,700円
- むつ市シルバー人材センター  
シルバー友の会 様 ..... 5,000円
- 龍 本 寺 様 ..... 36,000円
- むつ脇野沢ライオンズクラブ 様 ..... 22,260円
- むつみらいライオンズクラブ 様 ..... 50,000円
- 田 中 晴 子 様 ..... 5,000円
- 館 孝 明 様 ..... 2,000円
- むつ市もうたりクラブ 様 ..... 24,000円
- 大湊カトリック幼稚園 様 ..... 11,131円
- 田名部カトリック幼稚園園児一同 様 ..... 13,015円

- 4クラブ合同ゴルフチャリティコンペ 様  
..... 26,000円
- 匿 名 ..... 6,000円
- 匿 名 ..... 50,000円

### 主な物品寄付

- (株)中浜サッシセンター 様 ... 火災警報器 40器
- からたち緑のドラム缶 様 ..... 車椅子 1台

平成28年 1月1日から平成28年 6月17日まで